

■塩谷宕陰 漢学者。水野忠邦ブレーンとなり、天保の改革失敗も国政に関与し続け、幕府の儒官になった。

しおのやとういん

浮世風呂・・1809 = 江戸愛宕山の下で生まれた。これが宕陰という号の出た所以。

水野忠成老中1818 = 9歳：

シ-ギ 山鳴滝塾1824 = 15歳：_昌平黉に入り、諸秀才と交わって刻苦勉励し、

羽根沢の_松崎謙堂にも師事、佐藤信淵の教えも受ける。

日本外史・・1827 = 18歳：

シ-ギ 山追放・1829 = 20歳：関西に行き、文章を多く書いて戻り父に呈する。それを見て父は'この子は自分の志を成就してくれるだろう。われ憾みなし'と言ったという。

富嶽三十六景1831 = 22歳：父が死去したため、塾を開いて母を養うも、貧窮甚だしく、_師謙堂が浜松侯水野忠邦を説いて、文学に採用される。

_忠邦の命を受けて、歴代藩主の年代記「丕揚録」を編集。

・・・・・1836 = 27歳：

大塩平八郎乱1837 = 28歳：

天保改革始・1841 = 32歳：*水野忠邦が始めた天保の改革を補佐して、功大きく、

順天堂始・・1843 = 34歳：*改革が失敗して忠邦の退老後も、世子の教育に熱心にあたり、国政に参与するまでになる。

阿部正弘首座1845 = 36歳：

清国の阿片戦争が日本に及ぶことを憂えて「阿芙蓉遺聞」「幕海私議」を著わして海防のことを論じ、西欧人が次々と来航するようになると、日夜憂えて寝食を忘れる程で、数々の書疏を作り、当局者に提出。

ペリー来航・1853 = 44歳：ペリー来航の際、浦賀を見聞して記録「焚余雑稿」を著す。

開国開港・・1854 = 45歳：

桜田門外変・1860 = 51歳：

遣欧使節・・1861 = 52歳：幕府より徵命があり、*將軍家茂に謁見し、儒官となる。

8月18日政変 1863 = 54歳：

_歴代將軍の政績を書こうとして、3代將軍まで書いた所で病に倒れ、

大政奉還・・1867 = 58歳：_没した。

「隔靴論」「丙丁飼戒録」「大統歌」「視志緒言」「昭代記」「宕陰藤稿」「宕陰存稿」などが刊行された。